

令和 7 年度手話言語意見交換会

「もしものときのために～聞こえない・聞こえにくい方と一緒に学ぶ避難訓練」

日 時：令和 8 年 3 月 14 日（土）13:00～15:50

場 所：旭川障害者福祉センターおびった 体育館

参加者：66 名（内訳 ろう者 15 名、一般 51 名）



1 実施内容

- | | |
|--------------|-----------------|
| （1）避難訓練 | （4）段ボールベッドの作成 |
| （2）避難所での情報伝達 | （5）グループで感想共有・発表 |
| （3）手話のレクチャー | （6）統括 |

2 アンケート結果

回答 35 名（聴覚障がい者 2 人、手話サークル等の関係団体に所属 22 人、学生 2 人、手話に馴染みがない 4 人、その他 5 人）

（1）ワークショップについて、意見・感想

- ・聴こえる聴こえないパツとみた瞬間はわからない。周りに目をくばり、皆で一緒に避難できればと思いました。
- ・ダンボールベッド初めて組み立ていい経験でした。
- ・手話言語ワークショップの名称ではありましたが、手話を使わない聴覚障がい者が多数いるなかで、今回のように様々な方法を使って情報保障を行う取り組みは良かったと思います。
- ・最初は手話が全然分からないので不安があったが、グループの人が優しく手話を教えてくださりとても楽しかったです。

（2）旭川市の手話施策について意見や要望

- ・子供達が手話を定期的に学べる・機会・システムをもっと市として作って欲しいと思います。
 - ・今後も手話を学ぶ会の継続を望みます。そして手話が浸透していき更に多くの人が手話を使える旭川になれば良いと思います。
 - ・日常の延長に、緊急時対応となるので一般の事業 例えばスタバのように手話対応できるスタッフがある店などもあると思います。
- 手話を学び、お客様として迎える関係の中でも繋がりが生まれるので、事業者向けの事業もあると良いと思います。